令和6年度　東久留米市立 本村小学校　　学校評価報告書

学校教育目標	◎創る・・・・互いに考えを深め合い、創造していく児童の育成	教育ビジョン	【目指す学校像】 ○今日が楽しく、明日が待たれる学校 ・挨拶が行き交い、笑顔が輝き歌声が響く学校　・アイディアを出し合い、みんなで創り上げる学校　・保護者、地域と子供を共に育てる（共育）学校
	○思いやる・・自他のよさに気付き、互いに認め合う心豊かな児童の育成		【目指す児童・生徒像】 ○互いに認め合い、楽しい生活を創造していく子 ・想いや願いをもち、考えを深め合い、創造していく子　・自他のよさや違いに気付き、互いに認め合う心豊かな子　・心身の健康と安全に留意し、意欲的に取り組む子
	○活きる・・・健康で、何事にも意欲的に活動する児童の育成		【目指す教師像】 ○明るく温かく、創造・成長を共に楽しむ教師 ・子供の思いや個性を受容し、温かく丁寧に指導・対応する教師　よりよい授業と教育活動、自らの成長を目指して高め合う教師　・「安心・安全な学校」を目指し、服務の厳正に努める教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	【成果】○校務分掌の改編等により、組織的に学校運営ができるようになってきた。 ○週時程表、各教科の年間指導計画の見直し等により、学年・学級経営の充実が図られてきている。 【課題】○基礎学力及び体力のさらなる定着・向上　○主体的にかかわり合う力の醸成　○教員の授業力の向上　○地域連携の推進		

東久留米市第3次教育振興基本計画				中期経営目標	短期経営目標	評価指標・評価基準		自己評価（4段階）		学校関係者評価（4段階）		次年度の方策
No.	三つの柱	基本施策	今年度学校で重点を置く「具体的施策」	（令和8年度までの3年間）	（1年間）	取組指標	成果指標	取組	成果	評価	コメント	
1	Ⅰ　人権尊重の精神の涵養と健やかな心と体の育成	個性を認め合う教育の涵養	人権尊重教育の推進	教育活動全体を通して組織的・計画的に人権教育を推進し、人権教育の一層の充実を図る。	人権教育全体計画を作成するとともに、学校教育全体を通して、自分のよさを実感する経験を積み重ねる指導を行う。	教職員の十分な取組 4：90%　3：80% 2：70%　1：70%未満 教職員全員による自己評価の平均値	児童アンケートで「自分にはよいところがある」の肯定的評価 4：85%　3：75% 2：65%　1：65%未満	3.4	3	3.5	【Ⅰ】 子供が学校が好きで、学校生活を楽しみにしている意識が高いことが素晴らしい。そのことが子供自身の自己肯定感の高さや他者への思いやり等の道徳的価値観の醸成につながっていると思う。 学校生活を楽しみに登校している児童が多いのは嬉しい。教職員の日々の努力のお陰で、ありがたい。 自己肯定感、セルフイメージが高いのはよい。さらに他者に対しての関係（信頼・協力や互いに支え合う関係）づくりと、集団（学び、遊び）の中で対人関係の力や社会性が育まれてほしい。日々の声掛け、丁寧な対応が大切。 人として、いじめ問題に対応できている児童が多いことは素晴らしい。 参観の際、廊下で出会った1年生が「こんにちは」と挨拶をしてくれ、清々しい気分になれ、感心した。 体育で、子供たちの声が反映された授業がなされていた。運動の楽しさがさらに実感され、スポーツの日常化を進め、体力の向上を図りたい。 虫歯の児童が少なくなってきたのもよい兆しである。 【Ⅱ】 本時の学習課題が板書に明示されて、各児童に意識化する工夫がなされているなど、主体的な学びの道筋が示されており、大変素晴らしい。 家庭での学習時間の確保など、家庭との連携による学力向上に向けた課題はあるが、地域と連携した教育、ほんむらっこ塾などの取組等、しっかりできている。 どうしても地域性の問題があり、家での学習が疎かになっている。家庭での勉強時間を大事にするために宿題を出し、少しでも身に付くようにしたい。 学年・学級によって課題は異なるかもしれないが、「なぜ／知りたい／やってみよう／できた／分かった」という学習の楽しさをもう少し持てるとよい。 【Ⅲ】 保護者も学校からの文書や便りを見る、返事を出す習慣にしてほしいが、だんだん難しくなっている。日々の教職員の大変さに頭が下がる。 先生（教育）という仕事が、子供たちから魅力のある職業の一つであると思われることを願う。 どの教師にも強みと弱みがある。お互いの指導技術を磨き合い高め合う協力体制を作り、指導効果を高めたい。	11月の児童アンケートで「自分にはよいところがある」の肯定的評価は81.7%であった。 今後も教育活動全体を通して組織的・計画的に人権教育を推進し、人権教育の一層の充実を図る。
2	Ⅰ　人権尊重の精神の涵養と健やかな心と体の育成	個性を認め合う教育の涵養	いじめ問題への対応	学校いじめ防止対策基本方針に基づき、いじめの未然防止に努める。	年間3回いじめ防止授業等を確実に実施し、「いじめは絶対に許さない」という認識を醸成する。	教職員の十分な取組 4：90%　3：80% 2：70%　1：70%未満 教職員全員による自己評価の平均値	児童アンケートで「いじめはどんな理由でもいけない」の肯定的評価 4：85%　3：75% 2：65%　1：65%未満	3.7	4	4		11月の児童アンケートで「いじめはどんな理由でもいけない」の肯定的評価は99.0%であった。 今後も学校いじめ防止対策基本方針に基づき、いじめの未然防止に努める。
3	Ⅰ　人権尊重の精神の涵養と健やかな心と体の育成	規範意識や他人を思いやる心を育む教育の推進	道徳教育の充実	道徳的価値観を自分事として理解し、多面的、多角的に深く勧化たり、議論したりする道徳教育の充実を進める。	学校の教育活動全体を通して道徳教育を推進するとともに、「挨拶」を重点として取り組む。	教職員の十分な取組 4：90%　3：80% 2：70%　1：70%未満 教職員全員による自己評価の平均値	児童アンケートで「すすんで挨拶している」の肯定的評価 4：85%　3：75% 2：65%　1：65%未満	3.3	4	4		11月の児童アンケートで「すすんで挨拶している」の肯定的評価は93.8%であった。 今後も道徳的価値観を自分事として理解し、多面的、多角的に深く勧化たり、議論したりする道徳教育の充実を進める。
4	Ⅰ　人権尊重の精神の涵養と健やかな心と体の育成	生涯にわたって育む健やかな体づくり	体育・健康に関する教育の充実	運動に親しみ運動能力が高まるように体育の授業の内容を充実させる。日常的に楽しみながらできる運動体験を取り入れ、運動習慣の定着を図る。	体育の授業や休み時間に運動意欲を高める活動に取り組むとともに、心身の健康の保持増進に関する指導を充実させる。	教職員の十分な取組 4：90%　3：80% 2：70%　1：70%未満 教職員全員による自己評価の平均値	児童アンケートで「すすんで運動や外遊びをしている」の肯定的評価 4：85%　3：75% 2：65%　1：65%未満	3.3	4	4		11月の児童アンケートで「すすんで運動や外遊びをしている」の肯定的評価は85.7%であった。 今後も運動に親しみ運動能力が高まるように体育の授業の内容を充実させるとともに、日常的に楽しみながらできる運動体験を取り入れ、運動習慣の定着を図る。
5	Ⅱ　人生を切り拓き、社会を創る確かな学力の育成	確かな学力の育成	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	教員の指導力を向上させることを通して、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を行う。	学力調査の結果等に基づき「授業改善推進プラン」を作成し、年間3回全教員が授業公開と参観を行い授業改善に生かす。	教職員の十分な取組 4：90%　3：80% 2：70%　1：70%未満 教職員全員による自己評価の平均値	児童アンケートで「授業の内容がよく分かる」の肯定的評価 4：85%　3：75% 2：65%　1：65%未満	3.6	4	3.75		11月の児童アンケートで「授業の内容がよく分かる」の肯定的評価は94.1%であった。 今後も教員の指導力を向上させることを通して、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を行う。
6	Ⅱ　人生を切り拓き、社会を創る確かな学力の育成	国際社会の担い手を育む教育の推進	グローバルに活躍できる人材の育成	我が国や自分の地域の魅力に誇りを持ち、他国の人々や文化を理解し、尊重する態度を育てる。	各教科等の授業において、対話や話合いの活動を意図的・計画的に取り入れ、言語活動の充実によって、コミュニケーション能力を育む。	教職員の十分な取組 4：90%　3：80% 2：70%　1：70%未満 教職員全員による自己評価の平均値	児童アンケートで「自分の考えを伝えることができる」の肯定的評価 4：85%　3：75% 2：65%　1：65%未満	3.4	3	3.25		11月の児童アンケートで「自分の考えを伝えることができる」の肯定的評価は80.3%であった。 今後も我が国や自分の地域の魅力に誇りを持ち、他国の人々や文化を理解し、尊重する態度を育てる。
7	Ⅲ　時代の要請にこたえる信頼される学校づくり	持続可能な指導体制の整備	組織体としての学校機能の強化	教員が誇りとやりがいを持って職務に従事し、教育内容の質の向上を図るために、業務の見直しや効率化を推進する。	教職員のストレスチェック調査を年2回実施するとともに、校務改善や効率化のために校務支援システムの活用を推進する。	教職員の十分な取組 4：90%　3：80% 2：70%　1：70%未満 教職員全員による自己評価の平均値	教職員のストレスチェック調査で「やりがいを感じる」肯定的評価 4：85%　3：75% 2：65%　1：65%未満	3.3	3	3.5		11月の教職員の調査で「仕事にやりがいを感じる」の肯定的評価は82．5%で全国平均よりも高かった。 今後も教員が誇りとやりがいを持って職務に従事し、教育内容の質の向上を図るために、業務の見直しや効率化を推進する。
8	Ⅲ　時代の要請にこたえる信頼される学校づくり	持続可能な指導体制の整備	教員の資質・能力の向上	子供たち一人一人の個性や能力を伸ばし育てるとともに、様々な教育課題に適切に対応できるよう、教員研修を充実させる。	市や都で行う研修及び校内のOJT研修を通して人材育成を図るとともに、服務事故防止に向けた研修を計画的に行う。	教職員の十分な取組 4：90%　3：80% 2：70%　1：70%未満 教職員全員による自己評価の平均値	全教員が「東久留米市授業マイスター研修」を1回以上受講し、校内では年間6回以上の相互授業参観を行う。	3.5	4	3.75		全教員が「東久留米市授業マイスター研修」を1回以上受講し、校内では年間6回以上の相互授業参観を行うことができた。 今後も子供たち一人一人の個性や能力を伸ばし育てるとともに、様々な教育課題に適切に対応できるよう、教員研修を充実させる。
9												
10												